SOUTHERN CALIFORNIA EDISON®
An EDISON INTERNATIONAL® Company

NEWS

メディア関係者用連絡先（626）302-2255

米国サザンカリフォルニアエジソン社、三菱重工に対し契約により義務付けられた審査の受け入れを要求

サンオノフレ原子力発電所の永久廃炉をもたらした取替用蒸気発生器の欠陥発生より数ヶ月、三菱重工は審査受け入れの度重なる要求を依然として拒否

アメリカ合衆国カリフォルニア州ローズミード　2013 年 10 月 9 日―米国サザンカリフォルニアエジソン社（以下「SCE」）は月曜日、三菱重工（以下「三菱」）に対し、サンオノフレ原子力発電所において三菱が設計・製作した取替用蒸気発生器（以下「RSG」）について、契約により義務付けられた審査の受け入れに応じるよう正式に要求したことを発表しました。9 月 20 日、米国原子力規制委員会（以下「NRC」）は、三菱のコンピューターモデリングの不適合によって、RSG に欠陥が生じたと結論付けています。NRC の調査ではまた、三菱内部のコンサルタント資料に、三菱のコンピューターモデリングに関する懸念が述べられていることが明らかになっています。

エジソンの今回の正式な審査要求は、SCE 社長ロン・リットジンガー（Ron Litzinger）が文書にて発表しており、以下の URL にて閲覧可能です（http://www.songscommunity.com/docs/093013_letter.pdf）。その文書には、SCE の「職員および弁護士が少なくとも過去 3 回、審査要求をしているが、三菱はこれまで要求受け入れを断固として拒否し続けている」とあります。リットジンガーは再度抗議している理由について、「このような審査に対する三菱の度重なる拒否は、RSG の欠陥について理解し、教訓を得ようとする努力を妨害しており、社会、当局および業界全体に害を及ぼすからである」と述べています。

SCE の審査要求文では、「契約書には、三菱に対して審査を受け入れるようこの上なく明らかに示してある･･･契約条項 1.9.6 によれば、SCE は、三菱の『書籍、報告書、関連文書、仕様書、タイムカード、図面、設計図およびその他の文書を、注文書に関する業務に関係し、関連している範囲において、審査し、複写する』権利がある」としています。

三菱は度重なる審査受け入れ拒否において、この契約文は請求書を確認するために必要な経理情報にのみ適用されると主張しています。SCE の要求文では、三菱の弁明を「期待はずれ」とし、その弁明は「三菱が事実を明らかにすることを拒否しているという疑いを強めるにすぎない」と述べています。

リットジンガーの文書の結びには、「SCE は三菱が契約条項をそのまま忠実に守ると通知してくれば、すぐに審査をする準備ができている」とあります。

SCE は 7 月に三菱に対して紛争通知を提出し、サンオノフレ原子力発電所の運転停止をもたらした RSG の欠陥について、設計・製作した三菱にすべての損害を賠償するよう請求しました。また SCE は、三菱に対して取りうるあらゆる法的措置について、すべての権利を保持することを明言しています。最後に、SCE は、

RSG の欠陥に関する重要文書を電子文書ライブラリー（www.SONGScommunity.com/library 参照）にて公開していますが、三菱が重要文書の公開を拒否しているため、不完全なままとなっています。

サザンカリフォルニアエジソン社について

エジソンインターナショナル社（NYSE:EIX）の傘下にあるサザンカリフォルニアエジソン社は、米国内最大規模の電力会社のひとつであり、カリフォルニア州の中部・沿岸部・南部の 5 万平方マイル（約 13 万平方キロメートル）に及ぶ地域の 490 万件の顧客先を通じて、およそ 1400 万人に電力を供給しています。

###